

“青い鳥” Global Challenge Program

－ IB認定とCDIO加盟及びDS発行による多段階での国際的な技術者教育質保証システムの構築－

地域企業群のグローバル化への対応と、学生の質の保証を実現するためには、教育改革の推進とカリキュラムマネージメントを中心とした教育課程全体の国際標準での改革が必要である。そこで国際的な視点から教育改革を推進するためCDIOイニシアティブに加盟するとともに、海外協定校と「クロスアポイントメント制度」を構築し、教員の相互交流により教育の国際化を実現する。さらに「サービスマーケティングターム制度」を導入し、協定校との間で学生の派遣・受入を促進し、国際ボランティア、インターンシップなどを通じて国際化を推進するため教育課程を再編成する。その成果として本科3年次までの教育プログラムのIB認定取得を目指す。

地域企業群からの要請 平成27年度

(高専機構教育改革推進プロジェクト:平成27年度アンケート調査)

- ・ 国際社会を舞台に活躍できる人材
- ・ 化学・化学工学の知識修得
- ・ コミュニケーション能力 (英語力を含む)

大学教育再生加速プログラム (AP) 平成28～令和元年度

- ・ “安全・安心志向型”徳山コアカリキュラム (TCC) の構築
- ・ 継続的なキャリア形成が可能な信頼できる保証体制の構築
- ・ キャリア教育支援システム (きやりPI) を活用したディプロマ・サブプリメント (DS) 開発
- ・ 学生の学びを促進するための環境の整備と教育力の向上

グローバル高専事業 (展開型) 平成28～30年度

- ・ 異文化に対する理解
- ・ グローバル化に対応するための「知識を学ぶための方法」
- ・ グローバル化に対応するための「課題発見・解決力」
- ・ グローバル化に対応するための「高度な専門知識」
- ・ 英語による一般科目・専門科目の推進
- ・ 教材の開発・出版 (異文化理解系)

グローバルエンジニア育成事業 令和1～5年度 (グローバルエンジニア基礎力養成プログラム)

- ・ 中学校とのスムーズな連携教育
- ・ アダプティブ英語 e-Learning システム導入
- ・ 授業形態・方法の多様性に対応 (CLILコンテンツの開発・出版)
- ・ 英語科目以外の授業の英語化
- ・ 海外語学研修等の単位化
- ・ 柔軟なカリキュラム編成 (完全セメスター制・クォーター科目の導入)
- ・ 自学自習時間の確保 (カリキュラム再編:学修単位科目整理)
- ・ 学科学年横断縦断型STEAMプロジェクト導入
- ・ Ai Grow 等による異文化対応力等の可視化
- ・ GTEC4技能試験による英語力の可視化
- ・ IB (日本語DP) プログラム認定取得
- ・ (高度グローバルエンジニア育成プログラム)
- ・ 個別最適化「技術者教育パッケージ」単位化
- ・ サービス・ラーニングターム導入
- ・ “青い鳥” Global Challenge Program 構築
- ・ TOEIC、TOEFL等による英語4技能の可視化
- ・ Ai Grow 等による異文化対応力等の可視化
- ・ 教職員海外研修の強化 (フィリピン大学ディリマン校等)
- ・ ディプロマ・サブプリメント (DS) 英語版発行
- ・ CDIO イニシアティブ加盟

グローバルに活躍する技術者 → 教育のグローバルレベルの質保証

世界標準レベルの技術者教育改革を推進

専攻科2年次

専攻科1年次

本科5年次

本科4年次

本科3年次

本科2年次

本科1年次

JABEE CDIOイニシアティブ

- ・ 技術者教育プログラムの国際的相互認証
- ・ 国外における技術者としての認定

DS (Diploma Supplement)

- ・ 英語版DPの発行による国際的に通用する学修成果の可視化

SL (Service Learning)

- ・ 学事暦の工夫
- ・ Global Challenge Programの構築と単位化
- ・ 技術者教育パッケージのコースとして設置

IB (International Baccalaureate)

- ・ 国際的に通用する大学入学資格 (国際バカロレア資格) プログラム
- ・ 国内外の大学への進学 (国外大学への進学を目指す)
- ・ 高校卒業レベルの質保証
- ・ 技術者教育コア・パッケージとして整備

海外協定校

(シンガポール・香港・中国・タイ・インドネシア、フィリピンなど)
「クロスアポイントメント制度」の構築

- ・ 教員の派遣・受入、学生の派遣・受入

- ・ 世界的水準の教育動向の把握
- ・ 教職員の国際化

教育課程改革

- 「サービスマーケティングターム制度」導入
- ・ STEAMプロジェクト (技術者教育パッケージ:個別最適化)
 - ・ 学生の派遣・受入数の拡大

- ・ 英語力の向上
- ・ 異文化対応力の向上

大学教育再生加速プログラム (AP)
グローバル高専事業
グローバルエンジニア育成事業

IB認定、CDIOイニシアティブ参加
調査
施設整備・準備

2021 or 22年度: CDIOへの加盟
2023年度: IB認定 (DPプログラム) 取得

国際標準質保証システムの構築